

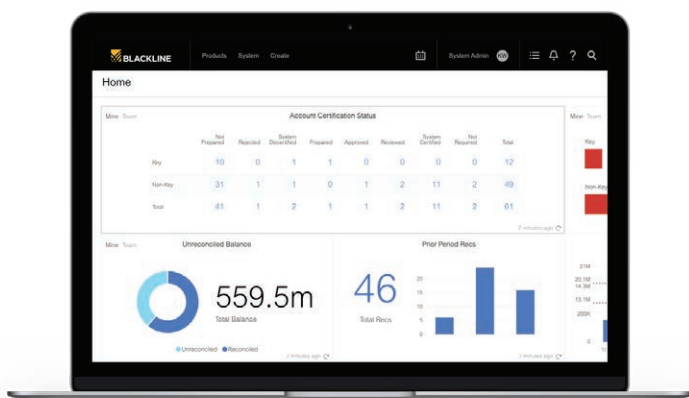
BlackLineの基盤

BlackLineは、有力なクラウド財務決算ソリューションとして、数多くの企業のビジネス課題の解決と成長に向け、支援を続けてきました。

実績のある実践を通じて、財務の健全性の強化、速やかな決算結果の作成、経営判断の改善、組織リスクの軽減を実現できます。

BlackLineは、お客様の成長事業と連携して、月次決算の効率化と近代化を実現します。決算タスク管理、勘定照合の自動化などの画期的な機能を通じて、持続的な成長を確保します。

さらにBlackLineのエキスパートが、経理部門への速やかな稼働を実現し、プロセス導入とユーザー強化を実施します。



経理部門のメリット

経理部長・マネージャー

自動化されたプロセスにより、経理部長とマネージャーは、財務諸表の正確さに自信を持っていただけます。リアルタイムのダッシュボードおよびレポートが、財務業務の透明性と可視性を高めます。

BlackLineの活用により、経営目標の達成に向け万全の準備を整えられます。

CFO

BlackLineが拡張性あるソリューションを提供するため、CFOは持続的に高水準の成長を達成できます。ソリューションに組み込まれた統制機能を通じて、リスクを緩和し、規制要件へのコンプライアンスを保証します。

手作業での入力が減るため、優秀な人材を確保しつつ、競争力あるコスト構造を達成および維持できます。

承認者

承認者は、全ての決算処理に関し単一の信頼できるシステムにアクセスできます。BlackLineにて、勘定照合、決算タスク、附属文書をきちんと保管します。さらに、決算を通じて統制が自動的に実施され、記録も残るため、効率的で容易な監査が可能になります。

担当者

BlackLineは、事前設定された決算タスクとアラートに加え、リアルタイムのダッシュボードを提供します。そのため、勘定の割当てと期日をより把握できるようになります。

スケジュールされたレポート、勘定照合テンプレートとルール自動化により、より迅速に決算結果が得られるため、担当者は作業量を効果的に管理し、業務を完了させることができます。

ハイライト

1. ダイナミックなダッシュボードとリアルタイムトラッカーを活用した本稼働プロジェクト計画
2. 勘定データ、取引データ、為替データのERP接続
3. 組み込みの従属関係とアラートを用いて、決算チェックリストの自動化
4. ベストプラクティスに基づく事前設定
5. 自動勘定照合テンプレート
6. BAI2ファイルとの銀行勘定照合
7. 必要な情報を収集し整理された専用レポート
8. リアルタイムダッシュボードとプリセットアラーム
9. 「監査に対応」した外部監査人ライセンス
10. 経理担当者と管理者向けの役割別のトレーニング

特長・機能

決算処理の効率化

経理担当者は数十年間、スプレッドシートに集計された手作業プロセスでの照合に取り組んできました。この一貫性の欠如はリスクを招き、ミスを誘発するおそれもあります。

BlackLineを使えば、標準化されたテンプレートとルールベースの自動化により、簡単かつスピーディに勘定照合を行えます。経験に基づき確立された BlackLine のベストプラクティスを、前払費用・未払費用・固定資産の勘定照合に活用できます。

無駄な作業を自動化し、分析に焦点をあてて、より迅速にかつ詳細な財務判断を下せます。

タスクワークフローの監視

紙の証跡とメールを用いた決算管理プロセスは、効率性と透明性を低下させます。

成長する企業は、日々のニーズと将来的な期待に応えるため、ダイナミックなワークフローとダッシュボードを必要とします。

事前設定された決算タスクとアラート、役割別のワークフロー、リアルタイムのダッシュボードとレポートを使えば、決算処理の追跡・統制を容易に行うことができます。

確認チェックリストを完了し、レビューコメントを追加し、ポリシーと手順を保存すれば——どれも中央司令センターから行えます——可視性が高まり期日通りに割当てを実施できます。

銀行勘定照合の自動化

複数システムの大量の取引データを手作業で照合するため、決算処理が時間のかかる面倒なものになります。このプロセスが原因で、タイムリーな経営判断が妨げられ、企業の業績の見通しが不透明になります。

代わりに自動化アプローチを採用すれば、銀行勘定照合をミスなく簡単に短時間で終わられます。BlackLineは、総勘定元帳データとBAI2ファイルから銀行データを自動的に引き出し、プリセットされたマッチングルールを使って取引を照合します。

BlackLineを使えば、経理担当者は積極的に例外と差異の照合の分析が行えます